

**氏名（年齢）** 山田玲子（47歳）

**所属・職名** 三重大学医学部附属病院消化器内科・助教（科内講師）

### **受賞の感想と今後の抱負**

この度は栄誉ある吉田壽記念医学研究振興会賞を賜り、大変光栄に存じます。御指導いただきました先生方、御協力いただいた県庁や医師会の皆様、並びに選考委員の先生方に厚く御礼申し上げます。今後も三重県のがん診療の発展に寄与すべく精進して参ります。引き続き、御指導・御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

### **受賞テーマ**

三重県全体における膵がん早期発見プロジェクトの立ち上げ

### **臨床医学（診療）分野に於いて成し遂げた顕著な業績**

地域の基幹病院として、胆膵の内視鏡処置及び化学療法を多数施行し、地域医療に貢献してまいりました。

### **業績の概要と将来展望**

膵癌は予後が極めて不良である。予後不良の大きな理由の一つは症状出現時には既に病期が進んでいるためであり、早期発見・早期治療が重要である。近年、尾道プロジェクト等、地域連携を軸とした膵癌早期発見による膵癌の早期発見率と生存率の向上といった有用性が報告されている。2020年9月より三重大学と津市・久居一志地区医師会が連携し、膵癌早期診断プロジェクトを実施（UMIN000041624）、2023年1月より県内の基幹病院と各郡市医師会による地域連携を軸とした三重県全体での膵がん早期発見プロジェクトを立ち上げた（図1）。立ち上げに際し、中心機関として三重県庁、三重県医師会・各郡市医師会と協力して三重県全体での実施を進めた。三重県津市の先行モデルでは項目を6項目設定し、合計2点以上で三重大学へ紹介し、精査に繋げた。三重県プロジェクトも津地区での地域連携と同様に、以下のリスク因子に該当する患者を各地区の中核病院が三重大学医学部附属病院に紹介、超音波内視鏡（EUS）を含めた精査を行うこととした。下記のリスク因子に該当し、2点以上であった20歳以上の患者

1. 膵癌が疑われる症状（腹痛、黄疸、腰背部痛、最近の体重減少） 1点
2. 新規発症の糖尿病、または糖尿病の増悪 1点
3. 膵癌家族歴あり（親子、兄弟・姉妹に膵癌または膵腫瘍の診断あり） 1点



**Yamada R** (Corresponding author), et al. Improving the Prognosis of Pancreatic Cancer Through Early Detection: Protocol for a Prospective Observational Study. JMIR Res Protoc. 2021;10(10):e26898.

#### 最近の講演など

- 2022年9月16日 松阪地域連携臨床懇話会
- 2023年1月21日 三重県都市医師会会長会議
- 2023年3月23日 松阪中央総合病院学術講演会
- 2023年4月20日 津地区医師会
- 2023年7月6日 Expert Forum in Mie 2023
- 2024年2月29日 脾疾患地域連携フォーラム in 三重

#### 主な学術論文

1. Harai S, Hijioka S, **Yamada R**, et al. Safety of biliary drainage with 6-mm metallic stent for preoperative obstructive jaundice in pancreatic cancer: PURPLE SIX STUDY. Gastroenterol Hepatol. 2024. Online ahead of print.
2. Hattori A, **Yamada R** (Corresponding author), et al. The safety and efficacy of Ringer's solution loading with rectal diclofenac for prevention of post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis: The RESOLUTION-PEP study. DEN Open. 2023;3(1):e236.
3. **Yamada R** (Corresponding author), Tsuboi J, Murashima Y, Tanaka T, Nose K, Nakagawa H. Advances in the Early Diagnosis of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma and Premalignant Pancreatic Lesions. Biomedicines. 2023;11(6):1687.
4. Kin T, Shimizu Y, Hijioka S, Hara K, Katanuma A, Nakamura M, **Yamada R**, et al. A comparative study between computed tomography and endoscopic ultrasound in the detection of a mural nodule in intraductal papillary mucinous neoplasm -Multicenter observational study in Japan. Pancreatology. 2023:S1424-3903(23)00147-3. Online ahead of print.
5. **Yamada R** (Corresponding author), Nakane K, et al. Development of "Mathematical Technology for Cytopathology," an Image Analysis Algorithm for Pancreatic Cancer. Diagnostics (Basel). 2022;12(5):1149.

6. **Yamada R** (Corresponding author), et al. Improving the Prognosis of Pancreatic Cancer Through Early Detection: Protocol for a Prospective Observational Study. JMIR Res Protoc. 2021;10(10):e26898.
7. **Yamada R** (Corresponding author), et al. Usefulness of an additional lead shielding device in reducing occupational radiation exposure during interventional endoscopic procedures: An observational study. Medicine (Baltimore). 2020;99(34):e21831.
8. Yoshizawa N, **Yamada R** (Corresponding author), et al. Comparison of endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration and biopsy with 22-gauge and 25-gauge needles for the "precision medicine" of pancreatic cancer: A retrospective study. Medicine (Baltimore). 2018;97(24):e11096.
9. **Yamada R**, et al. Human Equilibrative Nucleoside Transporter 1 Expression in Endoscopic Ultrasonography-Guided Fine-Needle Aspiration Biopsy Samples Is a Strong Predictor of Clinical Response and Survival in the Patients with Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Undergoing Gemcitabine-Based Chemoradiotherapy. Pancreas. 2016;45(5):761-71.

#### 主な著書

1. 村嶋佑美, 山田玲子, 中川勇人. 膵腫瘍の組織診断、膵腫瘍の組織診断 (EUS-TA) . 「膵癌・胆道癌 2023 (上)」 I .総論、臨床編、日本臨牀 2023 年 2 月増刊号.
2. 野瀬賢治, 山田玲子, 中川勇人. 浸潤性膵管癌、危険因子膵癌の危険因子. 「膵癌・胆道癌 2023 (上)」 I .総論、臨床編、日本臨牀 2023 年 2 月増刊号.
3. 山田玲子, 中川勇人. 胆道癌の画像診断、POCS (胆道鏡). 「膵癌・胆道癌 2023 (下)」 I .総論、臨床編、日本臨牀 2023 年 2 月増刊号.

#### 略歴

- 2002 年 3 月 三重大学 医学部卒
- 2002 年 5 月 三重大学医学部附属病院 研修医
- 2002 年 6 月 松阪中央総合病院 研修医
- 2003 年 5 月 三重県立総合医療センター 研修医
- 2004 年 4 月 松阪中央総合病院 胃腸科
- 2006 年 4 月 愛知県がんセンター中央病院 レジデント
- 2008 年 4 月 松阪中央総合病院 胃腸科
- 2010 年 4 月 三重大学医学部附属病院 消化器肝臓内科/医学看護学教育センター助教

2016年 3月 学位取得

2021年 三重大学医学部附属病院 消化器肝臓内科助教

2022年～現在 三重大学医学部附属病院 消化器病センター胆膵部門長

2023年～現在 三重大学医学部附属病院 消化器肝臓内科科内講師

### **専門分野**

消化器内科胆膵領域の内視鏡診断及び治療、化学療法

### **医学博士・専門医資格など**

日本内科学会 総合内科専門医 指導医

日本消化器病学会 指導医 学会評議員 東海支部評議員

日本消化器内視鏡学会 指導医 学術評議員 東海支部評議員

日本膵臓学会 認定指導医 学会評議員

日本胆道学会 認定指導医 学会評議員

日本内視鏡学会 医療安全委員会委員、利益相反委員会委員

日本膵臓学会 嚢胞性膵腫瘍委員会委員

### **賞罰**

2023年 日本胆道学会 学会賞